

混沌とした中から

イースターエッグについての話（2）

では具体的にどのようなイースターエッグがあるかについてです。

まずスタッフロールが登場するものですが、これは「EXCEL2000」に入って(入ってというのが適当かはありますが)はいています。起動の仕方としては、

1. 「オプション」-「R 1 C 1 の参照形式を使用する」のチェックを外す
2. 「F 5」を押すと「ジャンプ」というボックスが出てくるので「参照先」に「X2000:L2000」といれ「OK」を押す。
3. 「Tab」キーを1回押すとM2000のセルが選択となる。
4. キーボードの「Shift」+「Ctrl」を押しながらメニューの「グラフィックウィザード」ボタンを押す。

すると画面が切り替わってバックが黒の中に白のスクリーンが表示されスタッフロールがしたから始まります。ところでExcel97の場合は「X2000:L2000」を「X97:L97」にするのですが、この場合は画面が3Dのポリゴンに変わりマウスでその空間の中を移動することができるのですが、その中にスタッフの名前がスクロールする石碑があるというものです。他にEXCEL2000の場合は、

1. 起動後すぐに「ファイル」-「Webページとして保存」とする。
2. 「名前をつけて保存」が表示されたら「選択範囲(E):シート」にチェックを入れ、「対話機能を追加する」にもチェックを入れ保存先をデスクトップとして保存する。
3. EXCELを終了しデスクトップから保存したファイルを起動する。
4. シートが開くのでスクロールバーでWC2000のセルを表示し選択する。
5. 2000列目全体をクリックして選択する。
6. 「Shift」+「Ctrl」+「Alt」を押しながら左上の「Office」マークをクリックする。

するとレーシングゲームが始まるそうです(WindowsXPではうまく動かないそうで確認できませんでしたので)。カーチェイスができて機関銃をぶっ放したりコースから敵車両を押し出して事故らせたりでき、また走っているうちに日が暮れてくるとヘッドライトをつけることができます。

昔イースターエッグで有名だったものに「Word97のピンボールゲーム」がありました。このゲームは本格的なものだったようで、全画面に切り替わり3Dでちゃんと普通にゲームができます。

ゲームにもこんな機能があります。まず「ソリティア」では一気に終わるものや「Shift」+「Alt」+「2」を押すとカードが流れる最終画面が直接表示するものがあり、「フリーセル」では絶対終わらない画面になるもの、あっという間に終了して「勝ち」となるもの、逆に「負け」になるものやタイマーが止まるものなどいろいろあります。

最近のものとしては「Google Earth」に入っているもので、「Ctrl」+「Alt」+「A」で呼び出せるもので、本格的フライトシュミレータです。元々Google Earthは衛星航空写真、地図、地形や3Dモデルなどを組み合わせて、世界中の地理空間情報をお届けするアプリケーションですが、このイースターエッグでは世界各国の空港から自ら戦闘機を操縦して大空を飛び回るといったものです。

他にもIE5.0のものなどいろいろなものが確認されていますが、このごろは時代の流れもあり開発のセキュリティ管理も厳しくなってイースターエッグが少なくなっているようです。(連載終了)

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 11月5日号

特集 激安DRAMを活かす

→DRAMの価格が暴落している。512Mビットのパソコン用DRAMの価格が2008年前半に1ドルを割り込む可能性がある。微細化とセル・レイアウトで年率30%ずつコストダウンしている。これは、大容量の主記憶を安価な機器にも搭載できることになる。

論文 チューブを並べて大画面化できる「シートPDP」を開発

→これまでと同じ発光原理のPDP（プラズマディスプレイ）をフィルム基盤でチューブを並べた構造にしたシート状のPDPの解説。湾曲させることもシームレスに接続することもできる。

○日経パソコン 11月12日号

特集 精度倍増の検索力

→インターネット上の情報をどのようにして確実に検索できるか。検索には「ワザ」がある。YahooやGoogleの検索欄の横にある「検索オプション」を使ったことはあるか。AND検索や完全一致検索、OR検索、NOT検索などいろいろな設定が可能になる。たくさん出てきても欲しいのが無ければ無駄な時間。より良いテクニックを習得できれば検索が変わる。